

**\* 大温室入口ロビーで見頃の植物情報を掲示しています**

## Vol.1

### ヒカゲヘゴ(ヘゴ科)

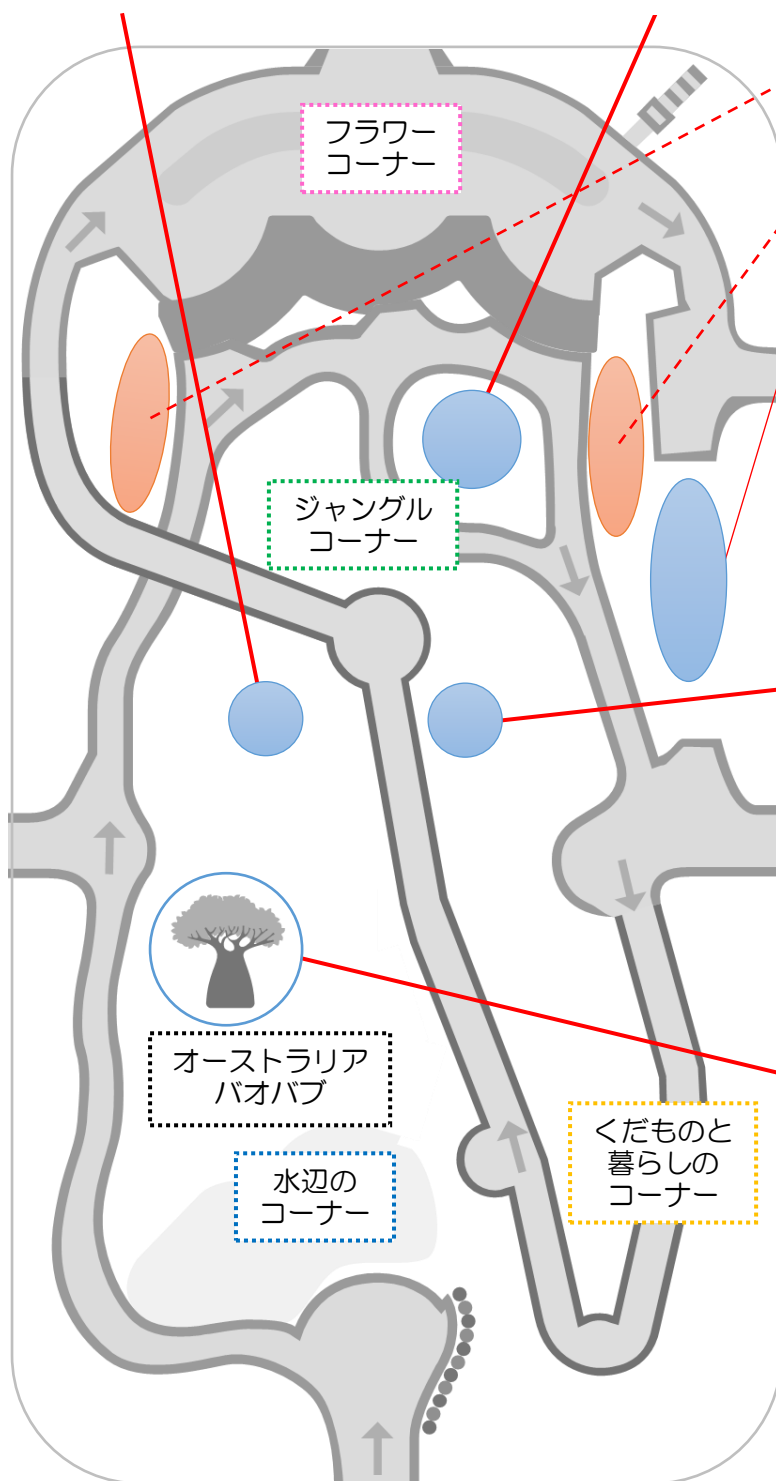
日本最大のシダ植物で、沖縄本島以南が分布域です。ヒカゲものでなく、明るいところを好みます。巨大な傘のように影を作ることが名前の由来でしょう。幹の様子は葉(柄)が取れた跡です。新芽は山菜として食べられます。

### ベンガルボダイジュ(クワ科)

空中に伸びる気根が特徴的なイチジクのなかまです。絞め殺し植物としても有名で、ほかの木に絡みついて枯らしてしまいます。仏教の聖木でもあります。果実はイチジクに似て食べられます。隣のガジュマルもお見逃しなく。

### 世界の洋ラン(ラン科)

熱帯古城の壁面は溶岩の石組みでできており、世界の洋ランの展示コーナーとなっています。左側に東南アジア原産のラン(シンビジウム・デンドロビウム・ファレノプシスなど)、右側に中南米原産のラン(カトレア・リカステ・オンシジウムなどを配置しています。



### ショクダイオオコンニャク(サトイモ科)

インドネシア・スマトラ島原産の植物で、世界最大の花をつける植物です(単一の花としてはラフレシアが最大)。コンニャクイモ(球茎)も巨大で60 kg以上にも。国内での開花事例はわずか16例、今年こそ開花するでしょうか。花が咲くのはわずか1日だけ、夜に咲き、強烈な悪臭がします。

### コーヒーノキ(アカネ科)

くだものと暮らしのコーナーも一新しました。まだ実をつけている植物は少ないですが、コーヒーの実が鈴なりです。空中デッキから見下ろすことができます。ちなみに、デッキの床材はブラジルの国花イペーです。

### オーストラリアバオバブ(アオイ科)

新しい大温室のシンボルツリー。オーストラリアから11000 kmの長旅を経て広島にやってきました。樹齢約400年、幹回りは2m超で国内最大です。夜咲く花で白い花を上向きにつけます。新エングレー分類体系ではパンヤ科であり、ドリアン、パキラ、トックリキワタなどが同科の植物です。